

「宇都宮市地域共生社会の実現に向けた福祉のまちづくりプラン」を策定しました



計画期間 ▶ 令和5年度から令和9年度までの5年間

本市の現状

人口は2017年をピークに減少

少子高齢化、ひとり暮らし高齢者は増加

複雑化・複合化した問題を抱えるケースが増加

障がいのある人が増加

認知症になる人が増加

課題

絆やつながりの意識の醸成

住民同士の支え合いによる地域づくり

複雑化・複合化した問題にも対応

ユニバーサルデザインの推進

思いやりがあふれるまち

市民一人ひとりが他者を理解し、主体的に地域の活動に参加し、やさしさや思いやりの気持ちを持ちながら、ちょっとした手助け・声かけ・おもてなしなどが日常生活の中で自然に行われることで自律できるまち

本市が目指す「福祉のまち」



地域で支え合うまち



地域の誰もが絆や信頼関係を築きながら、地域において、住民が抱える様々な不安や悩み、課題を把握するとともに、地域の多様な主体や行政等と連携協力して、解決することができる、住み慣れた地域で支え合いながら生活を送れるまち

安心・快適に暮らせるまち

交通・交流施設などの都市基盤や、身近な施設・住宅などの生活基盤の利便性が向上し、交流活動が広がるとともに、これまで以上に多様な福祉サービスが提供され、誰もが生きがいを感じながら、安心して生活を送れるまち



「福祉のまち」を実現するために、次のとおり3つの基本目標を定めます。

基本目標1

福祉のこころをはぐくむ人づくり

【成果指標】

身近な地域活動に参加意欲のある市民の割合
(現状値) 33.7% ⇒ (目標値) 50.0%

地域福祉を担う、市民一人ひとりの意識の中に、他者を理解し、やさしさや思いやり、互いを尊重する気持ちをはぐくみ、地域での助け合いや支え合いを推進できるよう、福祉のこころの醸成、福祉教育の充実、地域福祉の担い手の発掘や育成に取り組んでいきます。

<取組例>

- ・共生のこころをはぐくむプロモーション
- ・若者ボランティア認定制度



市民に期待される役割

- ・日ごろから地域でのあいさつや声掛けを積極的に行います。
- ・高齢や障がいなどの特性を理解し、自分ができる範囲のちょっとした「手助け」を実践します。

基本目標2

共に支え合う地域づくり

【成果指標】

地域における居場所への参加者延べ人数
(現状値) 69,958人 ⇒ (目標値) 100,000人

誰もが社会参加により生きがいを持つとともに、地域の中で活動する様々な団体や個人、事業者及び行政が互いにその機能・役割について共通認識を持ち、課題を共有し、ネットワークを構築して、共に支え合うことができる体制づくりを推進します。



<取組例>

- ・参加支援マッチング事業
- ・コミュニティーワーカーの育成支援
- ・支え合い協議会(仮称)の設置
- ・宮っこの居場所づくりの推進



市民に期待される役割

- ・地域の活動に関心を持ち、情報収集し、参加しやすい地域活動から参加します。
- ・家族や友人に声をかけ、参加者の輪を広げます。

基本目標3

安心して暮らせる福祉の基盤づくり

【成果指標】

共生型の相談窓口で受け止めた相談が支援につながった割合(R5年度新規開設)
(現状値) - ⇒ (目標値) 100%

福祉課題が複雑化・多様化する中、すべての市民が多様な福祉サービスを適切に受けられるよう、デジタル技術や様々なデータを活用しながら、わかりやすい情報提供や分野横断的な相談支援に取り組んでいきます。

また、地域の特性や周辺環境、ニーズや優先性を十分考慮しながら、市民にとって快適な都市基盤・生活基盤の整備を計画的に推進していきます。

<取組例>

- ・包括的相談支援事業
- ・多機関協働事業
- ・子ども家庭センターの設置
- ・ヤングケアラー対策の推進
- ・成年後見制度利用支援事業
- ・民間賃貸住宅を活用した住宅確保
- ・要配慮者の居住安定化の推進



市民に期待される役割

- ・地域で見守り、心配な人に気がいたら相談窓口につながります。
- ・判断能力が不十分な人への支援制度を理解します。



◆問合せ先◆
宇都宮市役所 保健福祉総務課 企画グループ
電話 632-2919

詳しくはHPを
ご覧ください ▶



<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/machizukuri/fukushi/1031878.html>